

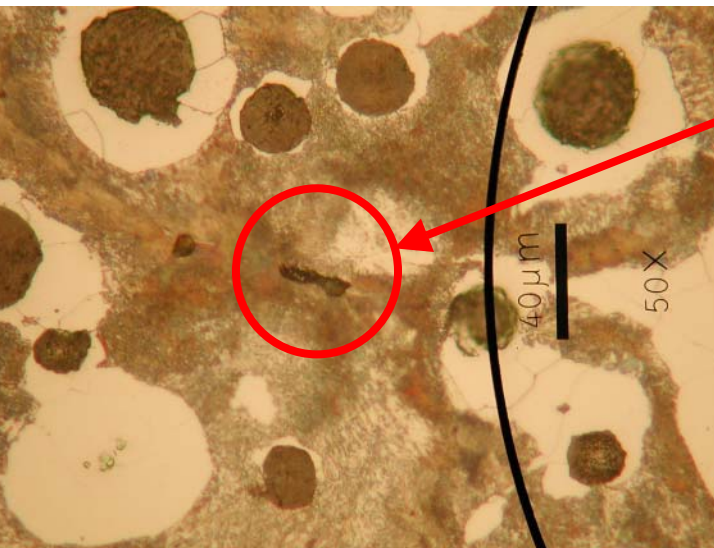
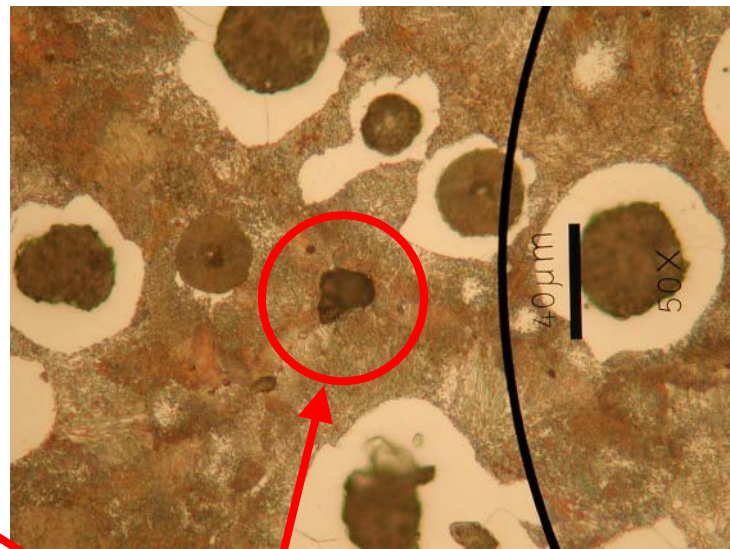
### 亜鉛(Zn)によるFCDの伸び低下

近年のスクラップ事情の悪化により様々な微量元素の混入が、現場鑄造技術者の方々を困らせております。

亜鉛(Zn)は亜鉛鍍金鋼板からの混入が主なルートです。

誘導炉の誘導コイルへの悪影響は割合知られておりますが、沸点(bp):906°Cであるがゆえに、鑄物製品中に微小な巣を残すことがあります。

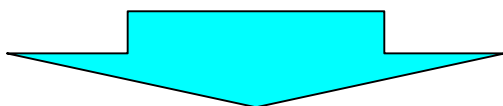
その場合著しく機械的性質が悪化します。



Zn(亜鉛)によるものと思われる「巣」が結晶粒界に散見される。

通常機械的性質は  
引張強さ: 650N/mm<sup>2</sup>  
伸び: 8~10%  
のところが今回の場合  
**引張強さ: 490N/mm<sup>2</sup>**  
**伸び: 1.5%**  
であった。

因みに残留Zn値で0.017%  
(半定量値)であった。



**ニューアロイ(株)にご相談下さい!**



**ニューアロイ株式会社**

〒441-0153 愛知県豊橋市新西浜町1番地

TEL 0532-34-2088(代) FAX 0532-34-2089

mail: newalloy@mva.biglobe.ne.jp URL: http://www.new-alloy.net/